第３回菊池市公共施設等総合管理計画策定審議会委員会

議事録（要旨抜粋）

日時	平成２８年7月２７日（水）１５時００分～
場所	菊池市中央公民館２階　小会議室
次第	１　開会 ２　委嘱状交付 ３　会長あいさつ ３　議事 　１）菊池市公共施設白書（案）概要版について 　２）菊池市公共施設総合管理計画の基本方針（素案）について 　３）総合支所庁舎施設の利活用を考えるワークショップの実施について 　４）その他 ４　閉会
議事内容	**１）菊池市公共施設白書（案）概要版について** （事務局より、菊池市公共施設白書（案）概要版について説明） 委員　白書概要版の中に支出のグラフを載せる計画はあるのか。 事務局　白書には掲載しているが、概要版にも記載した方がいいのか。 委員　現在の構成では、菊池市の状況が悪いというように見える。支出を見ると、農林水産業施設は、支出は少ない。支出が少ない施設を減らしても、全体の財政面での効果が少ない。支出のグラフで強調しないのか。支出があまりない農業施設が多くあるようにみえる。支出があまりない農業施設を減らすより、支出が多いものを減らした方が、効率的である。人口一人当たりの支出の状況と他都市の状況を比較したデータが欲しい。 事務局　一人当たりの支出の他都市比較は、総務省の公共施設状況調べでも掲載がないので、比較するのが難しい。概要版については、簡素化しているので、支出等詳しい状況は掲載していない。 事務局　補足すると、今言われている支出は、毎年毎年かかる経費、いわゆるランニングコストのこと。現在ある施設を建て替える際に建て替える費用が足りないということで載せている費用とは別。支出の毎年のランニングコストの話と建て替えるコストが足りない話では、支出の種類が違う。 事務局　概要版の構成については、今後付け加えることも可能。今後協議させていただきたい。調整事項については、後ほど皆さんに協議させていただきたい。 事務局　他都市との比較については、現在他都市でも策定途中である。来年、国が公開した時点で比較することは可能である。 （菊池市公共施設白書（案）の調整事項について） 事務局　維持管理費と維持運営費の対比の方がわかりやすいのでは。P35 の収入について、国の補助金が入っているものもある。維持管理と運営を分けて、維持管理分の収入と維持運営分の収入を分けてわかりやすく対比するように変えたいが。 事務局　減価償却費は文章の中には残すが、円グラフから外すことを想定している。

	委員　減価償却費を円グラフから外すということは特に問題ない。 事務局　上下水道施設のハコモノについては、インフラの方で別途試算をする。市の支出からは独立しているため、将来更新投資額の試算から外すことを想定している。ただし、現況の中では掲載し、全体の試算の中からは外すということで問題ないか。 委員　そのような対応で問題ない。 **２）菊池市公共施設等総合管理計画の基本方針（素案）について** （事務局より、菊池市公共施設等総合管理計画の基本方針（素案）について説明） 委員　基本方針等が記載されているが、各施設所管課で対応をするということでよろしいか。誰がやるのか、そしてチェック体制については、方針に記載したほうがよいのではないか。 事務局　計画の目次の中で、Ⅷの計画の推進に向けてというところで記載する予定である。本日の検討項目ではないので、今後協議させて頂ければと考えている。次回は、Ⅷまで検討するということで調整している。 委員　Ⅷに記載するのであれば、それで問題ない。 委員　民間活力の導入について、PPP、PFI の説明を但し書きとして入れてほしい。 事務局　そのように対応する。 委員　P23 の保有総量を最適にするという、最適はどのあたりなのか。類似団体レベルを目指すということなのか。効率的というのは何を持って効率的というのか。 事務局　保有総量は、他都市に合わせるということではなく、市の財政規模に合わせて管理できる総量にするということ。白書の P3 の赤ラインを青ラインまで下げないと維持ができない。単純にそれをするというわけではないが。他都市並みに総量を下げるということではない。 事務局　財政だけでなく、人口も推計としては 2 割程度減るといわれている。学校においても学級数は減っていく。それらも踏まえて保有総量を最適化したいと考えている。 委員　青のラインに合わせるというのが理想ということか。 事務局　青のラインまで下げるということではなく、目安である。青のラインが基本ということではない。 委員　人口のライン、面積のラインがあるが、人口密度が違うところと比較するのは無理があるのではないか。 事務局　人口密度や産業等の都市状況が類似している団体と比較して、総量の一つの目安としている。 委員　地域ごとに状況が異なるため、総量だけで判断せずにバランスを考え、施設の廃止等の方針を検討して欲しい。 事務局　そのとおり。以前配布した資料の第 3 章に施設の分布図を掲載している。そうした施設配置等も踏まえて施設の方針を検討している。 委員　だから、民間とタイアップするということも考えられるのか。コンビニで公共料金が払えるなど。田舎のほうでも民間企業がタイアップしてくるのでは。これからは民間の力を借りるべきであると考えている。 事務局　そのとおり。民間に移管して民間が運営できるなら公でやる必要はない。そこは民間にお願いすべき。そのことも踏まえて担当課で検討している。 事務局　先ほど質問にあった「効率的」とは、問題が発生してから対応する事後保全の

考え方ではなくて、予防的・計画的に保全をやっていくことが効率的であるという考え方である。

事務局　総合管理計画のＰ23 に記載している「効率的」という文言が重複しているため、文言を整理する。

３）総合支所庁舎施設の利活用を考えるワークショップの実施について

（事務局より、総合支所庁舎施設の利活用を考えるワークショップの実施について説明）

事務局　よければ、審議会のメンバーにも参加していただきたい。

事務局　第１回目は各支所をバスで見て回るので、3～4 時間かかる。他の２回は夜に開催し、１回目は昼に開催することを想定している。

委員　開催時間は、できれば午後にしてほしい。

事務局　第１回目は、９月 17 日（土）もしくは、９月 24 日（土）で開催予定である。

委員　地区の人を１人選出した方がよいのか。総合支所が存在するところがよいのか、それとも誰でもよいのか教えてほしい。

事務局　施設の事を知っている人、もしくは、第３者かという２通り考えている。

事務局　各団体には、どの地域の人を呼ぶか調整する。

委員　10 月１日、８日、29 日は会合が入っているため、参加するのは難しい。

事務局　第１回目開催後に、第２回目以降の日程は調整する。

4）その他

委員　議事録は相当前に送ってもらっているが、なかなか目を通せていない。白書 3 章の P45 の各小学校には放課後児童クラブがあるが、旭志にはないのか。

事務局　旭志にもある。民間が運営している。民間施設のため、白書には掲載していない。

委員　白書には掲載するのか。

事務局　あくまで市の施設を対象としているため、白書には掲載しない。

委員　花房小学校の年間利用者数については何の数字か。

事務局　年間通しての利用者数で、延べ人数ではない。施設の登録者数（申込者）のことであると考えている。

委員　それだと年間の支出について、一人当たりが多くなる。考え方が統一されていないように感じる。

事務局　公共施設を対象にしており、民間施設への補助事業等への支出は、白書には掲載してない。子育て計画等の別計画で表現している。運営費の考え方で整理できればと考えている。また、利用者数が登録数だったり延べ人数だったりしてわかりにくいので、注釈をいれるか、同じ表現に合わせるのか検討する。

委員　他にも気付いた点があれば、指摘いただきたい。地域別の特性について、大学と熊本市の施設マネジメント室で検討した。それによると、熊本市は他の政令指定都市に比べて市営住宅は人口に比して多い。その削減には県営住宅もあるので、両者のバランスを考える必要があると思う。

委員　総合支所等の地震の状況はどうか。

事務局　旭志総合支所は、天井が一部落ちたりしている。他の支所も一部被害があるが、

		大規模な被害はない。文化会館や学校など様々な被害が出ているが、大規模な被害はない。復旧に向けて迅速に進んでいる。財政課所管のものは大規模な被害はない。
	委員	被害があった施設は、いつを目途に修繕完了するのかが気になる。
	事務局	すぐに対応できるところは終わっているが、まだ、見通しは立ってないところもある。9 月の議会で工事費等が出るので、3 月末までに応急措置も含めて復旧をしていくつもりである。
	事務局	次回の開催は 9 月を予定しているが、各施設の方針の検討に時間がかかっているので 10 月になるかもしれない。時期については、再度調整させてほしい。 （以上）